

## ■令和8年5月1日 定例記者会見内容

- 1 日 時 令和8年5月1日（金）11：00～11：40
- 2 場 所 市役所本庁舎3階 第三委員会室
- 3 出席者 ○市長、副市長、総務部長、企画部長、教育次長、市民部長、総務課長  
○酒田記者クラブ／各社  
幹事社／河北新報・YBC

## ■市長発表事項

### 1 八幡体育館改築工事竣工記念式典を開催します（スポーツ振興課）

市長／令和6年度から改築工事を進めてまいりました八幡体育館でございますが、令和6年7月25日に発生した大雨被害の影響で約3か月ほどの遅れが生じておりましたけれども、最終的には予定より3週間遅れの令和8年4月17日に完成いたしました。八幡体育館は、旧耐震基準で建設された建物でありまして、耐震診断の結果、補強が必要と認められたため、令和6年度から令和8年度にかけて解体工事を含めた改築工事を行っていたものであります。

アリーナをはじめ、体育館内には高齢者、幼児子どもたち、それから身体障がい者の方などが心理的な負担を感じることなく、誰もが安心して利用できるように配慮しております。例えば、小さな子どもや車いす利用者、高齢者などの目線の高さを考えて、床のラインでアリーナ・トイレ・会議室などへの視線の誘導をしております。また障がいや個人特性に配慮した多機能型のトイレも整備しております。さらにはアリーナには厚みがあり冷たくなりすぎない床材を使用しておりますので、災害時には避難所としても活用でき、また車両乗り入れもできるため、物資の集積所としての利用も可能となっております。詳しくは配付資料をご覧ください。

現在体育館内の備品等の整理、管理人の方への使用方法、使用料徴収管理業務などの調整を行っておりますが、連休明けの5月9日午後2時から、八幡体育館で八幡体育館改築工事竣工記念式典を開催いたします。そして、体育館は記念式典翌日の5月10日から利用することができます。スポーツによる賑わいとまち作りの場として、多くの市民の皆様の利用を期待しております。

## ■市長発表事項に関する質問

記者／総事業費と年間利用者数の見込みの数字があれば教えてください。

スポーツ振興課／総事業費はまだ確定しておりませんが、約10億円と見られます。見込み人数につきましては現在持ち合わせておりません。

記者／総事業費が確定するのはいつでしょうか。また、当初から場所の問題として、八幡地域に改めて体育館を作ることへの疑問の声もあったと思います。利用するために市内から八幡まで行くことを想定していると思いますが、本当に市内から利用者が行くのか、そのあたりをどう見ていらっしゃるのか教えてください。

**市長**／改築前の八幡体育館も十分に使われていたと思いますし、特に遊佐と近いため遊佐体育館とセットで使われていました。酒田全域あるいは庄内全域、あるいはもっと広くから、これからもこれまで以上に使用されていくことを大変期待しております。移動は車ですので特段遠いというようなことはなく、いろいろな体育館が使われている中の一つだと考えております。

**記者**／当初、なぜ市民の皆さんからそういう話が出たかということ、酒田市体育館閉鎖後の代替施設という位置づけだったからであり、代替施設であればやはり市内ではないかという声があったと記憶しています。八幡体育館と酒田市体育館の関係はどのように整理されていますか。

**市長**／酒田市の体育館のうち一番の拠点は I N P E X アリーナであり、次に位置する準拠点体育館が八幡体育館などのさまざまな体育館であるという位置づけになっています。体育施設整備方針の概要を市ホームページで公開しておりますのでご覧ください。

**スポーツ振興課**／改築費用の確定時期は、外構工事が 6 月までの予定ですので、6 月末には確定できるのではないかと見ております。

## ■代表質問

### 1 定期船のエンジン故障について

**記者**／まず、故障の原因について詳細が判明しているか教えてください。2 点目、運行再開の目途がどの程度たっているのか、現在わかるところを教えてください。3 点目、新船の建造を方針として掲げていますが、今回のトラブルを踏まえて検討の前倒し等の考えがあるのかどうかを教えてください。

**市長**／エンジン故障の原因については、故障した左舷エンジンは技術者やクレーン車両などの手配を経て 4 月 18 日に陸揚げをしまして、メーカー代理店の工場に陸送したところです。エンジンを分解して原因究明を行っている最中のため、まだ詳細は不明ですが、記録されていた油圧系や温度計などの各種アラーム、それから運転データからは事前の兆候は見られなかったとの報告を受けております。まだ原因はわからないということでございます。

就航再開のめどは、繰り返しになりますが現在エンジンを分解して確認している最中のため、修理完了の時期はわからない状況ですけれども、シリンダーブロック、クランクシャフトなどの重要部品は海外から取り寄せる必要があることから、修理にはかなりの期間を要すると考えております。今後、エンジンの分解が進むにつれて、大体の修理期間が判明していくことになると思います。

新船建造の前倒しを検討する考えはあるかということですが、新船を建造するためには、仕様の決定そして設計建造といった過程を踏まなければならないので、その都度関係機関との協議を行いながら進めていく必要があります。また、一般的には設計に半年弱、建造には 2 年は必要と言われておまして、造船所側でも 2～3 年先まで見据えて造船スケジュールを組んでいると聞いております。そのような中で、定期船とびしまのようなガソリンや LPG

などの危険物を全て輸送できる特殊な仕様の船舶を、急な発注に応じて設計や造成することは極めて困難であると想像できます。いずれにしましても、建造期間がエンジンの修理期間より長い時間を要しますので、現時点で新船の建造を前倒しする考えは持っていないところであります。

**記者**／船の新造について、前倒しは現実的に難しいということだと思いますが、逆に遅れる可能性があるのか教えてください。

**市長**／現時点ではございません。就航再開の目途ですけれども、観光客が増加する7月から8月には就航再開が間に合わないということになります。間に合わないようであれば、大型の旅客船を何とか手配していきたいというふうに考えております。

## ■フリー質問

### 1 ジャパネットクルーズの寄港について

**記者**／4月23日に初のジャパネットクルーズの寄港がありました。市長は船内でPRされてきたとお聞きしましたが、寄港当日のまちの様子などについてどのような印象をお持ちになったかお聞かせください。

**市長**／船内では3回説明会をさせていただきました。1回30分で、私は冒頭の挨拶だけでその後25分は別の方が説明してくださいましたけれども、3回とも会場が満席になるぐらいいらっしゃいましたので、合計したら1,000人を超えるぐらい、本当に大勢の方が説明会に来てくださりまして、船から降りてもくださったと思います。私もまず一番に船を降りまして、お客様にご挨拶もさせていただきました。

気づいたことは、やはり船内でPRした場所や施設に行列ができていたので、何とか分散してもらえるようにしたいと。とにかく4000人ということだと、一つの場所で対応できるということは全くないので、酒田あるいは庄内、山形県全体で4,000人を受け入れていくために、どうしたら分散していただけるかは課題だと感じました。

**記者**／市長のPRは理解しましたが、酒田市として当日どのような体制でおもてなしもしくは盛り上げをしたのかというところをお聞かせいただけますか。

**市長**／議会答弁でも何度も申し上げておりますけれども、なるべく民間、あるいは市民の皆さんにお任せできる場所はお任せしていこうということですね。もう何年も経験が積み重なりましたし、何より今年度は23回の寄港全てを市の職員だけで対応することはできないので、市民の皆さんにお願いできる場所をお願いしていこうという体制で、クルーズマーケットなどは市民の方が中心になってしてくださいましたと理解しております。市民の皆さん、あるいは民間の力ではできないところ、例えばインフォメーションセンターや全体の調整などは市がやっていたと理解しております。

**記者**／実際どのくらいの職員が当日のおもてなしもしくは盛り上げに関わったのかを教えてください。どのように分散させていくかという話の中で、中町や他の場所に乗船客を誘導するところで、高校生が非常に頑張っていた姿は見たんですけども、市の職員とお会いする機会がなかったと思っています。取材をしていて、いろんな関係者の方から、や

はりもう少し市なりDMOなり公の方々が表に出て引っ張っていくような姿、もしくは仕掛けがあってもいいんじゃないかというような声も聞かれましたが、市長はいかがお考えでしょうか。

**市長**／私はクルーズ船が入港するときはまちの様子を見ておきたいと思い、なるべくまちへ出るようにしております。私の印象では、いつも通り市の職員はいたと思いますが、お客様の数が多いので、確かに少し埋もれてしまったかなとも感じております。体制については、反省点はたくさんあると思いますし、あと6回寄港しますので、改善すべきところは改善していきたいと今調整しているところです。

**記者**／なるべくおもてなしは市民と民間に任せたいというお考えは2月の定例の記者会見でも仰っていましたが、その考えはやはり変わらないでしょうか。

**市長**／変わりません。ただ、市の職員あるいは市役所の関わりをもう少しという声も確かに聞いておりますので、どういった対応が適切なのかは考えていきたいと思っております。民間の方に、できないことを押しつけるということは全く考えておりません。市民の皆さんや民間の皆さんができることをやって、できないところは公共がやるというのが資本主義社会の大原則だと思っておりますので、どこまで任せるべきか、できないところはどこからで行政がどう関わるべきかというのはこれから検証して、2回目以降に向かっていきたいと思っております。

## 2 定期船の代船運航について

**記者**／シーエンジェルの代船を予定されているということですが、詳細を教えてください。

**市長**／定期船とびしまは現在修理中ですが、明日5月2日から5月17日までの予定で高速旅客船シーエンジェルが運行いたします。昨日運輸局の許認可も下りましたので、明日から運行することができるようになります。総トン数122t、乗客定員140人のシーエンジェルは九州商船の高速旅客性ですが、ゴールデンウィーク中はこの100人以上を乗せられる船を走らせて、5月18日以降は現在訓練中のアイランドブリーズを、こちらは19tと小さめですが乗客定員が88人ということで、5月18日以降に走らせることができるよう訓練準備を進めているという段階でございます。

**記者**／ゴールデンウィークに大型旅客船を手配できたことへの受け止めに教えてください。

**市長**／まず、100t以上の、そして乗客定員540人という少し大きめの船を何とか明日から運航できることは大変ほっとしております。ご協力ご支援いただきました全ての皆様、企業の皆様もそうですし、国の様々な機関の皆様、繰り返しになりますが船に関する民間企業の皆様に心から感謝いたしております。ほっとしております。

**記者**／最後に、ゴールデンウィークは観光客の皆さんが酒田の飛島を楽しまれると思いますが、どのようにお考えでしょうか。

**市長**／私も初めて飛島に行ったときは本当に感動いたしました。日本でこんなに素晴らし

いところがあるんだと、本当に時間が止まったような、いい意味での非日常を感じられるところだと思いますので、ぜひ飛島に行かれる方は楽しんで、そして事故のないように帰ってきていただきたいと思います。

### **3 令和6年7月25日大雨災害の仮設住宅入居者の状況について**

**記者**／豪雨被害の仮設住宅入居者の現状について、データで提供いただけないでしょうか。2 か月ほど前の記者会見で、被災者生活再建支援法の申請はないと仰っていましたが、申請がないということは再建せずに地域を出て行くのではないかとと思われるので、仮設住宅入居者の状況を教えていただきたいです。

**市長**／災害復興本部で取りまとめて報告させていただきます。

### **4 庄内広域水道事業の垂直統合の検討状況について**

**記者**／今年度のスケジュールや、現段階で決まっていることがあれば教えてもらえますか。

**市長**／決まっていることは特にございませませんが、話し合いは順調で、事務レベルでも毎月のように打ち合わせしていると聞いておりますし、私も先日県の企業管理者にもお会いして、順調に進んでいるということで確認いたしました。できるだけ早く合意に至ればとは考えております。

**記者**／いつぐらいに統合するとか、どのようなスピードでとお考えでしょうか。

**市長**／なるべく早くできればと思っていますし、今の県の管理者も大変熱心ですけど、まだいつまでというようなことを発表できる状況ではございません。

### **■その他**

なし